

**製品名: GPDA ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11608**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	38kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GPD1
別名	
遺伝子 ID	2819.0
SwissProt ID	P21695
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 210~290

**背景**

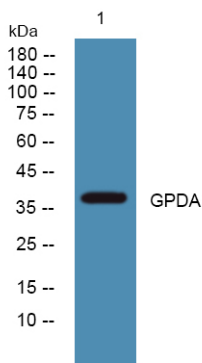
この遺伝子は、NAD 依存性グリセロール-3-リン酸脱水素酵素ファミリーのメンバーをコードします。コードされているタンパク質は、ジヒドロキシアセトンリン酸（DHAP）と還元型ニコチンアデニンジヌクレオチド（NADH）からグリセロール-3-リン酸

(G3P) と NAD<sup>+</sup>への可逆的な変換を触媒することにより、炭水化物および脂質代謝において重要な役割を果たします。コードされている細胞質タンパク質とミトコンドリアグリセロール-3-リン酸脱水素酵素は、還元当量の細胞質からミトコンドリアへの輸送を促進するグリセロールリン酸シャトルを形成します。この遺伝子の変異は、乳児期の一過性高トリグリセリド血症の原因となります。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。 [RefSeq 提供、2012年3月],触媒活性:sn-グリセロール 3-リン酸 + NAD(+) = グリセロンリン酸 + NADH.,酵素調節:亜鉛イオンおよび硫酸塩によって阻害される.,類似性:NAD 依存性グリセロール 3-リン酸脱水素酵素ファミリーに属する.,サブユニット:ホモ二量体,

## 研究分野

グリセロリン脂質代謝;

## 画像データ



HCT116 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、GPDA ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩